



藤条たかゆき (日本維新の会)

1. 国政選挙が地方自治体の自治事務に及ぼす影響について
2. 給食費無償化のその先へ

問 高市総理による衆議院解散に伴い、極めて短期間の選挙となり、現場には相当な負荷があったのは間違いない。解散から公示までの期間明確化など、憲法改正も含めた制度改正が必要ではないか。

答 解散権の行使自体は国の権限だが、現場の負担は大きい。準備期間が短いことで自治体実務が翻弄されているとして、解散権の在り方に一石を投じるべく緊急声明を出し、他の首長にも問題提起を呼びかけた。

問 4月から公立小学校で月額5,200円を基準額とした国の給食費無償化事業が始まる予定である。アレルギー等での給食未利用児童への対応と、現在の私費会計から公会計化への移行で透明性と公平性をどう確保していくのか。

答 国制度に沿い公平に対応する。公会計化はより歳入歳出を明確化し、説明責任と統制を強化する上で重要であると認識している。制度的・財政的な課題を整理し、適切な時期に進める方針である。



上杉ただし (日本共産党)

1. 認知症になってもいつまでも自分らしくいられる多摩市へ
2. ベルブ永山の学習スペースについて

問 認知症初期集中支援チームからサポートを受けるにあたってのプロセスについて伺う。

答 地域包括支援センターへの相談から、専門チームによる集中支援、そして継続的なケア体制へつなげている。

問 シルバー人材センター会員が認知症診断となった場合のシルバー人材センターの対応について伺う。

答 面談による業務調整や地域包括支援センターとの連携など、状況に合わせた柔軟な就業支援を行っている。

問 唐木田の認知症カフェ(からきだ匠カフェ)では、レクリエーションとしてドローンを活用している。体育館等で飛行させることはできないか伺う。

答 現在、体育館等でドローン飛行は許可していないが、課題や解決策を指定管理者と協議していきたい。

問 建設から約30年が経過したベルブ永山について、今後の施設改修に向けた検討状況を伺う。

答 設備の老朽化対策と変化する利用ニーズへの対応をめざし、持続可能な施設改修の検討を進めていきたい。



おにづかこずえ (あすたま・女性の力)

1. 多摩市役所保護猫譲渡会について
2. 子どもを性犯罪から守るDBS
3. 高齢者を詐欺電話から守る対策

問 保護猫譲渡会の参加人数と譲渡された保護猫の数を伺う。

答 78組158名の参加があり、昨年より3割増加した。保護猫は19匹参加でトライアルは13匹だった。

問 長い待ち時間を有効に活用するために、ボランティア団体が行う譲渡会などのチラシ配布や展示などを行って、保護猫活動を知っていただくことができないか伺う。

答 次回開催の時はボランティア団体の紹介や各団体の譲渡会のチラシなど、団体の皆さんに相談しながら検討していく。

問 日本版DBS(子ども性暴力防止法)の市での運用はいつからか伺う。

答 令和8年度12月25日を予定している。

問 詐欺電話について市民から相談を受けたときの対応を伺う。

答 警察に相談することや、録音機の貸し出し、国際電話の詐欺着信をブロックするアプリ「デジポリス」について説明している。



あらたに隆見 (公明党)

今こそ障害福祉に光を！

問 次回世論調査では障がい者施策について、市民の認知度を聞くべきではないか。

答 条例制定後聞いていないので、次回は聞くようにする。

問 障害福祉の分野ではDXの推進が遅れていると感じるが、今後の取組みについて伺う。

答 オンライン手続きなど、DXを進めていく必要は認識している。可能な業務からオンライン化を進めていく。

問 10年前、採択された失語症支援に関する陳情では、失語症周知・啓発を図るとあるが、どのような状況か伺う。

答 職員の研修等で広めてきたが、今後、さらに市民への周知も強化していく。

問 失語症者の会話パートナー派遣について多摩市では団体派遣は行っているが、個人派遣は行っていない。他自治体では本サービスをスタートしており、当事者団体からの要望も出ている個人派遣を始めるべきではないか。

答 具体的に検討を進め、日々の暮らしを支えていく同行支援を前に進めていく。

